

HOTELS & AFFILIATES —

コア事業・ノンコア事業を明確化しグループ力を強化

Answer → ANAグループ事業の再構築

関連事業全般においても「選択と集中」の観点から効率化とコスト構造の見直しを推進し、将来的にも改善が難しく利益が見込めない事業から撤退、優位性を持つ事業を強化します。そのために今後早期にコア事業・ノンコア事業を明確化し、グループ一体となり再建に取り組む過程において、期間中の損失引当を300億円織り込み、一部事業を整理するなど、グループ全体の財務体質を改善します。

関連事業の中核であるホテル事業に関しては、期間中の新規案件への投資を抑制するとともに、全日空本体と各ホテルおよび全日空エンタプライズ(株)が担う機能を明確に区分するなど、事業の再編と統合を推進し効率的な経営を目指します。

国内ホテル事業の再編

国内のホテルに関しては、従来のホテル経営体制を抜本的に改め、全日空とグループ関連各社に混在していた運営機能(オペレーション)と経営機能(オーナーシップ)を分離、別法人格による経営・運営体制を総支配人等の派遣型に変革することにより、運営責任を明確化し、金利償却前利益(GOP)の一層の向上を図ります。

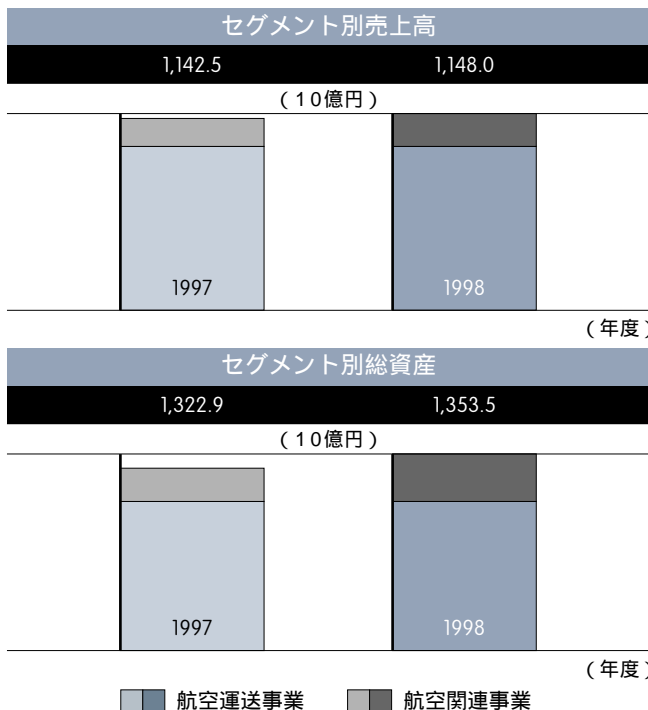
グループ内の全日空エンタプライズ(株)を「全日空ホテルズチェーン」を統括する本部として位置づけ、ホテル運営責任を明確化します。また(株)エーエヌエープロパティマネジメントにホテル資産を集約して一元管理を実現し、賃料収入等による投下資本の回収を図ります。

グループ内の全日空エンタプライズ(株)を「全日空ホテルズチェーン」を統括する本部として位置づけ、ホテル運営責任を明確化します。また(株)エーエヌエープロパティマネジメントにホテル資産を集約して一元管理を実現し、賃料収入等による投下資本の回収を図ります。

海外ホテル事業はGOPを更に改善

1998年9月にサンフランシスコ、ワシントンのホテル資産、1998年12月にロサンゼルスのホテル用地等の売却を行いました。現存している海外ホテルについては、キャッシュフローおよびGOPを増大させることを当面の方針とし、引き続き販売単価向上に向けた施策を実施するなど、連結収支の改善に向け今後とも一層の業績改善を図ります。

Question → ANAグループ会社のリストラクチャリングを今後どのように進めていくのか教えてください。





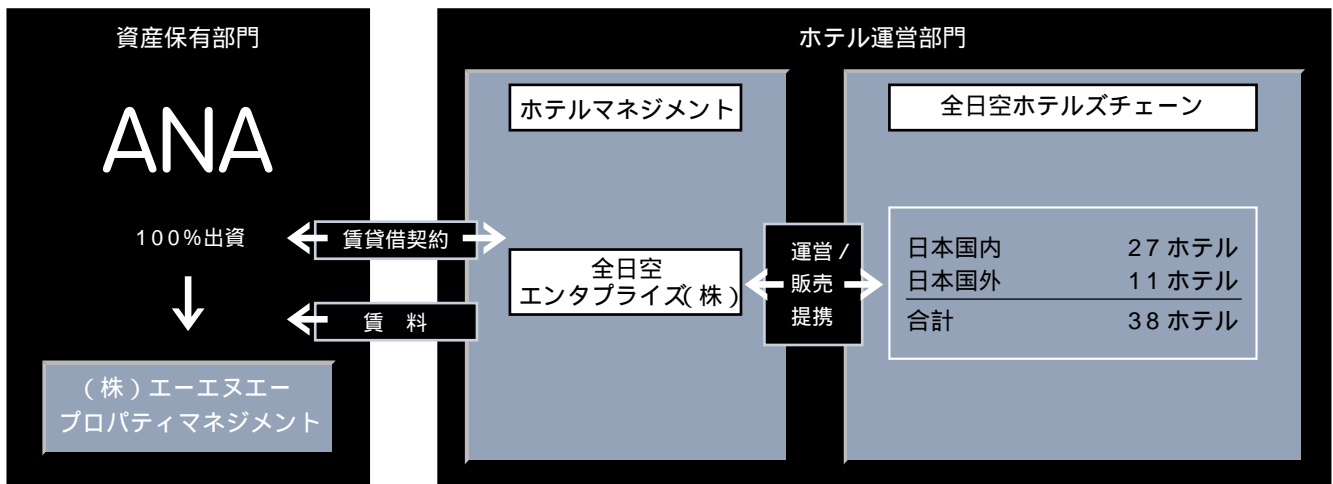
今後早期にコア事業・ノンコア事業を明確化し、将来的にも改善が難しく利益が見込めない事業からは撤退し、優位性を持つ事業を強化します。このために期間中の損失引当を300億円織り込み、一部事業を整理するなどグループ全体の財務体質の改善を図ります。

関連事業の中核であるホテル事業に関しては、期間中の新規案件への投資を抑制するとともに、事業の再編と統合を推進し効率的な経営を目指します。



全日空ホテルズは昭和49年の札幌全日空ホテルの開業以来チェーン展開を進め、本年8月の富山全日空ホテルの開業で国内27ホテル、海外11ホテル、営業客室総数は13,563室となりました。

ホテル運営概況



国内ホテル事業は運営機能と経営機能を明確に分離します。運営については、全日空エンタプライズが中心となり改革を進めます。